

2019.6.29-30

THAILAND

Round

04

qualify



60kgものウエイトハンデに苦しみながらも見事予選Q2進出を果たす



AUTOBACS SUPER GT 2019 第4戦は、シリーズ唯一の海外開催となるタイ・ブリーラムのチャン・インターナショナルサーキットが舞台となります。この時期のタイは雨期で、熱帯性の気候らしく、スコールが降る確率も少なくありません。当然、レースは波瀾含みになる可能性が高いのです。

前戦鈴鹿で今シーズン2勝目を挙げたK-tunes Racingは、シリーズポイントでトップに立ちました。同時にウエイトハンデも60kgと大幅に増加。5kgでも性能に大きく影響するレーシングマシンにとって、とても大きなハンデです。レーシングマシンに限らず、クルマにとって、重くて良い事は何ひとつありません。

ポイントリーダーであるK-tunes Racingは、そのハンデをはね飛ばして好成績を残せ、というルールなのです。

しかし現実には甘くありませんでした。予選直前のプラクティスでは、24台がエントリーする中で22位という、かつてない低いポジションになってしまいました。チームの中には、諦めの空気が漂っていました。「もしQ1が突破できたら凄





いことだよ！」影山正彦チーム監督が、そう言うほど、マシンのパフォーマンスは低下してしまっていたのです。

今回のレースでは予選Q1で16位以内が、予選Q2へ進むことができます。阪口晴南選手は、ゆっくりとタイヤを暖めてからタイムアタックに入りました。1回目のアタックでは暫定16位。その後アタックに入ったマシンによって、順位は次第に下がっていきましたが、2回目のアタックで暫定13位へとポジションアップ。最終的に16位!! ギリギリで予選Q1を突破し、Q2へと駒を進めることができました。若く才能あるドライバーが、チーム内の諦観した空気を吹き飛ばしたのです。



上位16台で争われる予選Q2、新田守男選手は早めにコースインし、果敢にアタックに入りました。しかし大きくポジションを上げることはできず、15位となりました。それでも苦しい状況の中、予選Q1を突破したことは大きな成果です。この流れが決勝レースでさらに加速することに期待が膨らむ予選となったのです。

2019 AUTOBACS SUPER GT Round4 Chang SUPER GT RACE

チャン・インターナショナル・サーキット
2019年6月29日 天候：晴れ 路面：Dry

qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	25	HOPPY 86 MC TOYOTA 86 MC / GTA V8	松井 孝允 佐藤 公哉	1'33.499	1'31.839 R	YH	14
2	56	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平峰 一貴 サツシャ・フェネストラズ	1'32.797	1'32.057 R	YH	24
3	7	D'station Vantage GT3 Aston Martin Vantage GT3 / 16A	藤井 誠暢 J.P.デ・オリベイラ	1'33.187	1'32.111	YH	
4	11	GAINER TANAX GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平中 克幸 安田 裕信	1'33.361	1'32.476	DL	44
15	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'33.988	1'34.359	BS	60

監督・選手コメント



Team Director
影山正彦

本当に良くがんばってQ1突破してくれたと思います。明日の決勝レースは、マシンの重さの影響は大きいんですが、自分たちのレースをしっかりとやれば、上位入賞も不可能ではないと考えています。



Driver

阪口晴南

厳しい予選になるのは判っていたんですが、しっかりとQ1を走ることができて、何とかQ2へと進むことができました。決勝レースは、コンディションが悪くなるば浮上できると思います。

